



Agri Note 菜園

アグリノート菜園情報

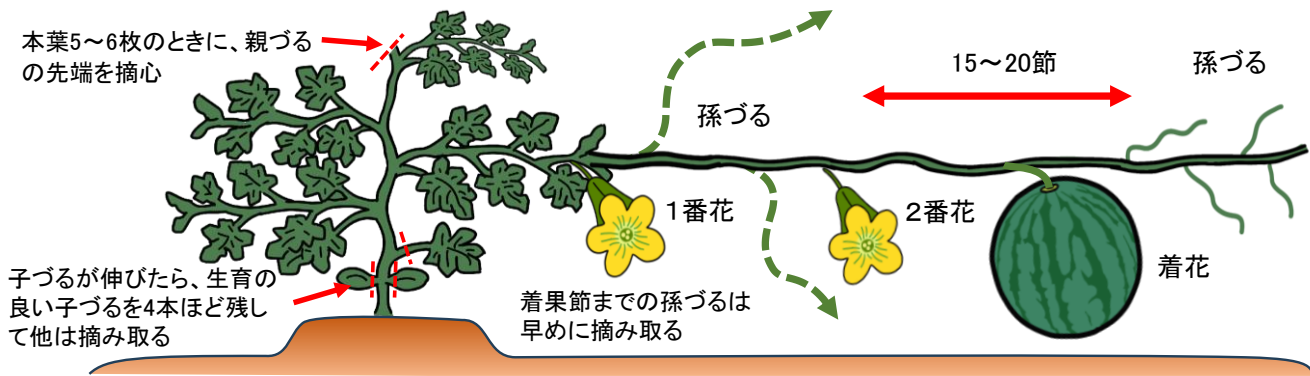


JA福井県

今年は春から低温が続きましたが、気温も上がり、ようやく夏に近づいてきました。春に定植した夏野菜がそろそろ収穫に入る時期です。最近では日中と夜間の寒暖差が激しく、野菜の栽培管理が難しい年ではないかと思えます。天気予報をこまめに確認して、水やりの量を加減するなど天候に合わせた栽培管理を心掛けてください。まだ体が暑さに慣れていないと思えますので、休憩と水分を適度に取りながら作業を行いましょう。

1. 大玉スイカ

夏の風物詩であるスイカには、ビタミンやカリウムが多く含まれています。4本整枝2果どりで着果管理を行い、夏に大きく甘い果実を収穫できるように栽培しましょう。



【整枝】

- 親づるは本葉6枚程度で摘芯し、子づるは4本程度伸ばす。
- 着果までの孫づるは早めに除去。
- 着果以降の孫づるは残して、光合成ができるように葉面積を確保。

【着果管理】

- 16~22節にある雌花は全て着果。
- 株元から最初の着果節位の間に付いた雌花は早めに除去。
- 鶏卵大になったらやや長めの形の良い果実を2つほど残して摘果。

2. ピーマン

ピーマンは果菜類ナス科の野菜で病害虫や夏の暑さにも比較的強いです。水やりや追肥などを適切に行うことで、秋遅くまで収穫が見込めます。

【仕立て・剪定】

- 第1果より下のわき芽は全て取る。
- 第2果で枝が二股になります。この枝4本を主枝とする。
- 主枝から出る側枝は、3~4節で摘心。



【4本仕立て】



【追肥】

- 収穫が始まったら、株を弱らせないように早めに追肥。
- ピーマンの樹勢は開花位置が目安。
- 花が咲いている上に4枚ほど葉がある状態が標準的で樹勢が良い状態。
- 先端に近い位置の開花は樹勢が弱いサイン、早めに追肥。
- 標準より遠い位置の開花は樹勢が強い、追肥は控える。
- 樹勢判断として、雌しべが雄しべより長いことも重要。

3. 露地野菜の排水対策は万全に！

畝間に長時間水が溜まっている場合は、排水対策を行いましょう。浸水していると、野菜の根が酸欠状態になり、根腐れや根痛みを起こしやすくなります。以下のチェックポイントを確認して、排水溝や排水口を整備しましょう。

- 晴れていても水が溜まっている。
- 排水溝を掘っていない、排水溝と排水口が繋がっていない。
- 排水口が雑草や土で埋まっている。

